

さまざまな環境活動の拠点になる「環境プラザ(仮称)」が、平成15年の秋にオープンします。

現在、札幌駅北口8・3地区(北区北8西3)市街地再開発事業で建設中の民間ビルの中に設置される「環境プラザ(仮称)」は、男女共同参画センター(仮称)消費者会館(仮称)市民活動サポートセンター(仮称)も併設される複合公共施設です。「環境プラザ」は2階に入居し、会議室や研修室、ミーティングスペースを完備。子供たちや市民団体、事業者を対象に、環境教育・学習事業を行っていきます。また、環境保全活動、交流への支援も実施。さまざまな環境にかかわる総合的な拠点施設としての役割が期待されています。



JR札幌駅と地下通路で直結する民間ビルの完成予想図。1~4階に四つの公共施設が入居。幅広い市民活動の拠点施設となります

## 資源やエネルギーのムダづかいをやめることが、地球温暖化防止に役立ちます。

**太陽光発電は、二酸化炭素を出さないクリーンエネルギーです**  
家を建てるなら、太陽光発電の屋根をつけては?

家庭から出るごみの約6割(容積比)は、容器や包装で占められています  
買い物に出掛けるときは、バッグやカゴを持ち、過剰包装に注意して!

電気の多くは石油や石炭などを燃やして作られます  
節電は二酸化炭素の削減に効果があると同時に家計の節約にもなります。

水道水は、浄化や送水に多くのエネルギーを消費しています  
水の出しっ放しには注意しましょう。

リサイクルすれば、資源が無駄になりません  
子供用品や衣類などはフリーマーケットに出してみてもいい。

自動車の排気ガスも二酸化炭素の発生源の一つです  
余計なアイドリングはダメだよ。

ごみの焼却には大量の二酸化炭素が発生します  
ごみは、きちんと分別しようね。

地下鉄・電車・バスは、エネルギー効率に優れた交通手段です  
公共交通機関を上手に利用しよう。

植物は二酸化炭素を吸収します  
会社や家の庭に木を植えよう。

**地球温暖化防止への3ステップ**

**参加**  
温暖化問題は他人ごとではありません。自分のことです。参加しましょう。

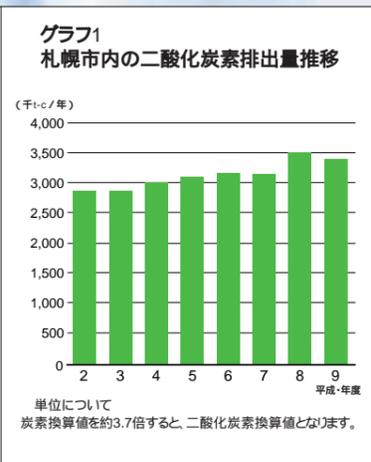
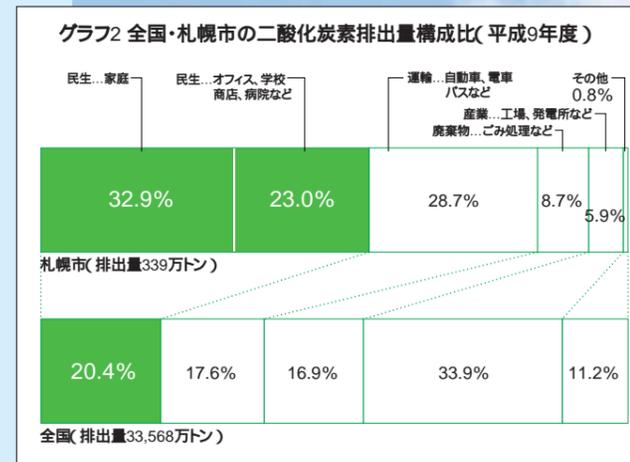
**連携**  
みんなと一緒に考えましょう。知恵を出し合ひましょう。

**実践**  
それぞれが自主的に、率先して「できることから」実践しましょう。

# 私たちの「行動」で ストップをかけよう

札幌市では平成10年に「札幌市環境基本計画」を策定。市民一人当たりの二酸化炭素排出量を平成19年には平成1年よりも10%削減することを目標としています。温暖化防止に即効薬はありません。今、私たちのライフスタイルの見直しを求められています。

家庭から出る二酸化炭素の量を減らそう!



効です。生活の中で資源・エネルギーの無駄遣いをなくすよう心掛け、再利用・リサイクルを進めていくことが地球温暖化防止の基本。まずは、それぞれができることから実践してみましょう。

札幌市内から出る二酸化炭素の約三割が家庭から私たちがの何げない日常生活は、実は環境に大きな負荷をかけています。確かに一人ひとりによる負荷は、それ自体ほんの小さなものかもしれませんが、しかし、これらの一つ一つが集まることで地球温暖化を引き起こされていることを忘れてはなりません。

札幌市内における一年間の二酸化炭素の排出量は炭素換算で三百三十九万トンに達します。(グラフ1)そのうち約三三%が、私たちの家庭からのものです。日本全体で見ると家庭から出る二酸化炭素は約一九%。積雪寒冷地である札幌は冬のエネルギー消費が多いことなどもあって、家庭からの排出量の多さに大きな特徴があります(グラフ2)。

**ライフスタイルを見直し 二酸化炭素を削減しよう**

二酸化炭素の排出量を削減し、地球温暖化にストップをかけるためには、私たちのライフスタイルを見直してみることが不可欠です。

「家電製品の省エネを考える」、「水の出しっ放しをやめる」、「不要な自動車のアイドリングをやめる」など、ちょっとした節約行動だけでも、二酸化炭素の排出量を減らすことができます。また、できるだけ不要なものを買わない、なるべくリサイクル商品を購入する、ごみの分別を徹底する、なども大変有効です。

私たちがの何げない日常生活は、実は環境に大きな負荷をかけています。確かに一人ひとりによる負荷は、それ自体ほんの小さなものかもしれませんが、しかし、これらの一つ一つが集まることで地球温暖化を引き起こされていることを忘れてはなりません。

札幌市内における一年間の二酸化炭素の排出量は炭素換算で三百三十九万トンに達します。(グラフ1)そのうち約三三%が、私たちの家庭からのものです。日本全体で見ると家庭から出る二酸化炭素は約一九%。積雪寒冷地である札幌は冬のエネルギー消費が多いことなどもあって、家庭からの排出量の多さに大きな特徴があります(グラフ2)。

**ライフスタイルを見直し 二酸化炭素を削減しよう**

二酸化炭素の排出量を削減し、地球温暖化にストップをかけるためには、私たちのライフスタイルを見直してみることが不可欠です。

「家電製品の省エネを考える」、「水の出しっ放しをやめる」、「不要な自動車のアイドリングをやめる」など、ちょっとした節約行動だけでも、二酸化炭素の排出量を減らすことができます。また、できるだけ不要なものを買わない、なるべくリサイクル商品を購入する、ごみの分別を徹底する、なども大変有効です。